

2012 年度前期 全学日本語プログラム実施要項

留学生センターでは、名古屋大学の留学生、外国人研究員・教職員を対象に全学日本語プログラムを実施します。プログラムの詳しい内容は、留学生センターのホームページをご覧ください。

(<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/old/zengaku.html>)

1. 開講期間 4月16日(月)～7月30日(月) 70日間

2. 受講資格

名古屋大学の留学生、外国人研究員・教職員で、日本語の学習を希望する人はだれでも受講できます。受講希望人は決められた期間に受講申込手続きを行ってください。登録の時に自分の指導教員、または所属学部の留学生担当教員に相談して「受講登録書・受講承諾書」にサインをもらって提出してください。ただし、留学生センター所属の日本語研修生と日本語・日本文化研修生、短期交換留学生(NUPACE)、オンライン日本語コースのみを受講する人は提出する必要がありません。「受講登録書・受講承諾書」の提出先は留学生センター4階406号室、または408号室です。レベル判定が必要な人はクラス分けテストを受けなければなりません。

3. 申し込み期間と方法

- ・受付期間：3月28日(水)～4月10日(火) 午前11時
- ・受付方法：インターネットで登録。「受講登録書・受講承諾書」も提出してください。
<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/old/zengaku.html>

4. レベル判定テスト(標準コース、集中コースのみ)

- ・テスト実施日時：4月10日(火) 17:00-18:00
- ・実施場所：経済学部カンファレンスホール (School of Economics [conference hall])
- ・結果発表：4月12日(木) 13:00 留学生センター1階ロビーの掲示板に掲示します。

○次に該当する者は必ずレベル分けテストを受けること。

- (1) はじめて全学向日本語講座(初級I以上)を受講する者。
- (2) 修了の認定(試験)を受けなかった者で、ひとつ上のクラスを受講したい者。

○次に該当する者はレベル分けテストを受ける必要はない。

- (1) 初級Iを受講しようとする者。
- (2) 過去に全学向け日本語講座を受講し、修了と認められた者はひとつ上のレベルを受講できる。

5. プログラムの内容と授業時間数

「標準コース」と「集中コース」のどちらか一つを選んでください。また、アラカルトコースとして「入門講義」、「漢字コース」、「ビジネス日本語」、「オンライン日本語」があります。時間と必要性にあわせて、選んでください。アラカルトコースだけ受講することも可能です。

●標準コース(SJコース) → 毎日1コマ、週5日(週10時間)

●集中コース(IJコース) → 毎日2コマ、週5日(週20時間)

○入門講義/○漢字コース/○ビジネス日本語/○オンライン日本語 → 週1回、1コマ(週2時間)

6. コース・レベル・クラス数・目標

コース 科目	レベル クラス数	目 標	教 材
標準 コース (standard)	初級 I SJ101	日本語がほとんどわからない学生を対象に、日本語文法の初歩的な知識を与えるとともに日常生活に必要な話しことばの運用能力を育てる。(漢字100字、単語数800語)	<i>A Course in Modern Japanese, [Revised edition] Vol. 1 & CD</i>
	初級 II SJ102	初級 I 修了程度のレベルの学生を対象に、さらに基礎日本語の知識を与えるとともに日常生活に必要な話しことばの運用能力を育てる。(漢字150字、単語数900語)	<i>A Course in Modern Japanese, [Revised edition] Vol. 2 & CD</i>
	初中級 SJ200	初級 I、II で学んだ文法事項の運用練習を行うとともに、中級レベルで必要となる漢字力、読解力を含め、日本語運用能力の基礎を固める。(漢字200字、単語数1000語)	留学生センター開発教材
	中級 I SJ201	初中級修了程度のレベルの学生を対象に、日本語の文法を復習しつつ、4技能全般の運用能力を高める。(漢字300字、単語数1200語)	『現代日本語コース中級 I』
	中級 II SJ202	中級 I 修了程度のレベルの学生を対象に、日本語の文法を復習しつつ、大学での勉学に必要な日本語能力の基礎を固める。(漢字400字、単語数2000語)	『現代日本語コース中級 II』

	中上級 SJ300	中級 I、II で学んだ学習項目を実際の場面で使えるよう運用練習を行い、上級レベルの日本語学習の基礎を固める。 (漢字 500 字、単語数 3000 語)	・留学生センター開発教材 ・『日本語上級読解』ア ルク
	上級 SJ301	中上級修了程度の学生を対象に、大学での研究や勉学に必要な口頭表現、文章表現の能力を養う。 (漢字 800 字、単語数 4000 語)	留学生センター開発教材
集中 コース (intensive)	初級 I IJ111	日本語がほとんどわからない学生を対象に、日本語文法の初歩的な知識を与えると同時に日常生活に必要な話しことばの運用能力を育てる。(漢字 150 字、単語数 800 語)	<i>A Course in Modern Japanese, [Revised edition] Vols. 1, 2 & CD</i>
	初級 II IJ112	標準コース初級 I 修了程度の学生を対象に、日本語文法の基礎を固め、日常生活だけでなく勉学に必要な基礎的日本語運用能力を養う。 (漢字 250 字、単語数 1000 語)	<i>A Course in Modern Japanese, Vos. 2 & CD</i> , 作成教材
	中級 I IJ211	集中コース初級 I または標準コース初級 II 修了程度の学生を対象に、日本語の文法を復習しつつ、4 技能全般の運用能力を高める。(漢字 300 字、単語数 1200 語)	『現代日本語コース中級 I』および留学生センター作成教材
	中級 II IJ212	集中コース初級 II または標準コース初中級修了程度の学生を対象に、4 技能全般の運用能力を高め、研究に必要な日本語能力の基礎を固める。(漢字 400 字、単語数 2000 語)	『現代日本語コース中級 I・II』
漢字 コース (kanji)	漢字 1000 KJ1000	漢字 300 字程度を学習した学生を対象に、日本語能力試験 N3-N2 程度の漢字 1000 字を目標に学習する。	『漢字マスター Vol. 3 2 級漢字 1000』
	漢字 2000 KJ2000	漢字 1000 字程度を学習した学生を対象に、日本語能力試験 N2 の上から N1 程度の漢字約 2000 字およびその語彙を学習する。	『日本語学習のための よく使う順 漢字 2100』
入門 講義 (introductory)	次の専門分野を日本語でやさしく解説する講義形式の授業である。日本語運用能力を高めるとともに、日本理解を助ける科目である。標準コース中上級レベル以上の日本語能力が受講資格である。		
	国際関係論 II IR200	グローバル化をキーワードとして、いくつかの認識方法を手がかりに、現代国際環境の変容を見る。	講読文献などは授業中に適宜指示する。
	日本文化論 II JC200	日本の社会や文化の特徴をより深く理解するために、韓国を比較の対象として取りあげ、東アジアにおける「近代」(西洋文明との出会い)の意味を考える。	講読文献などは授業中に適宜指示する。
	言語学 II GL200	言語学の一分野である意味論(認知意味論を含む)について学ぶ。特に、現代日本語を素材として、類義表現・多義表現などの分析方法を身につけることを目指す。	講読文献などは授業中に適宜指示する。
	日本語学 II JL200	主に日本語教育で問題となる文法項目を取りあげ、整理・検討することによって、文法の基本的知識を身に付けることを目標とする。取り上げるテーマは、テンス・アスペクト、モダリティ等	講読文献などは授業中に適宜指示する。
オンライン・日本語 コース	・中上級読解 作文 0L300 ・オンライン漢字 0Lkj	中級レベルを修了した学習者を対象に、400 字～600 字程度の文章の理解とその文章の要約や関連作文を課し、文章表現能力を養う。 初中上級レベルの学習を修了した学習者を対象とした漢字のクラスを開講している。毎週 1 回オフィスアワーを開設する。	Moodle 版日本語教材
ビジネス 日本語 Business	ビジネス日本語 I、II、III BJ400	将来、日本の企業に就職を希望する人はもちろん、日本人のビジネスコミュニケーションに対する理解を深めたい留学生を対象とし、日本のビジネス・マナー及びビジネスで用いられる日本語表現を身につける。	『ビジネスのための日本語・初中級』スリーエーネットワーク

(入門講義科目の「I」は秋学期に、「II」は春学期に開講する。)

7. 問い合わせ先: 国際学生交流課 内線 5 9 5 1 または uwjp-reg@ecis.nagoya-u.ac.jp

8. 注意事項

- * 申込期間中に受講申込手続きをしなかった者は、受講を認めない。
- * 最初の授業の際、名古屋大学の学生証、在学証明書、在職証明書など、身分を証明できるものを必ず持参すること。持参しなかった者は受付けない。
- * 教科書は南部生協書籍部で事前に購入すること。